



LX-VB02N_Manual_V01

ユーザーズマニュアル

LX-VB02N シリーズ

目次

本書をお読みいただく前に	1
取扱い上のご注意	1
1. 付属品の確認	10
2. 各部の名称と機能	11
3. 外形寸法	13
4. 設置について	14
5. 機器の接続	16
6. 電源を ON にします	17
7. BIOS 設定画面について	18
8. 出荷状態に戻す (システムリカバリー)	20
9. その他の機能・設定	25
10. トラブルシューティング	28

■本書をお読みいただく前に

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

- 本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管してください。
- 本書の内容の一部又は全部を無断で複製・転載することを禁止させていただきます。
- 本書の内容に関しては万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社テクニカル サポートまでご連絡願います。
- 本書に記載されている機種名やソフトウェアのバージョンは本書作成時の情報です。最新情報については、当社テクニカルサポートへお問い合わせください。
- 本書に記載の内容は、改良などのために予告なく変更する場合があります。
- 本書に基づいて運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書で指定された設定以外にした場合、動作保証外となる場合があります。
- 本書及びリカバリーディスクは、日本語表示を基本にしています。
Sorry. A RecoveryDisc and this reference manual are available in Japanese only.

■取扱い上のご注意

●本製品を正しく安全に使用するために

本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。

●表示について

この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



危険

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる可能性がある項目です。



警告

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

◀この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



◀三角のマークは、何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



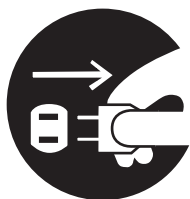
◀丸に斜線のマークは、何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



◀塗りつぶしの丸のマークは、何かの行為を行なわなければならないことを意味します。丸の中には行なわなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源ケーブルをコンセントから抜かなければならないことを意味します。



警告



●本製品から異臭や煙が出た時は、ただちに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社テクニカルサポートにご相談ください。



●本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水や油などの液体が入らないように注意してください。故障・感電・火災の原因となります。
※万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り当社テクニカルサポートにご相談ください。



●本体の上に重量物を置かないでください。故障の原因となります。



●高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所、ほこりの多い場所での使用や保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって感電・故障・火災の原因となります。



●本製品には正弦波以外で出力される電源（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。火災の原因となります。



●電源ケーブル・AC アダプター・充電器は必ず製品仕様に合わせた正しい電源電圧のコンセントに接続してください。火災・故障の原因となります。

警告



●電源ケーブル・ACアダプター・充電器は破損しないように十分ご注意ください。コネクターはしっかりと差し込んで使用してください。ケーブル部分を持って抜き差しすると、断線や被覆が破れて感電や火災の原因となります。



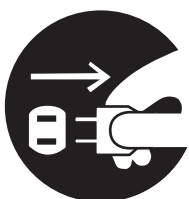
●電源ケーブル・ACアダプター・充電器のケーブルは必ず伸ばした状態で使用してください。束ねたり、ケーブルの上に物を乗せた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



●電源ケーブル・ACアダプター・充電器は必ず製品付属が当社指定の物をご使用ください。また、本製品に付属の電源ケーブル・ACアダプター・充電器を他の製品に使用しないでください。火災や故障の原因となる可能性があります。



●電源ケーブル・ACアダプター・充電器はなるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災や感電の原因となります。



●本体を長期間使用しない場合は、電源ケーブル・ACアダプター・充電器のプラグをコンセントから抜いておいてください。火災や故障の原因となります。



●各コネクターとの接続を間違わないようご注意ください。誤ったコネクターや向きを間違えて無理に差し込みますと破損や故障の原因となります。



●本製品は静電気に影響を受ける部品が搭載されています。コネクターの接点部分やポートなどに素手で触れないでください。故障や誤動作の原因となります。



警告



●本製品を引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。火災の原因となります。



●本製品を油煙や腐食性ガスが発生する環境で使用・保管しないでください。故障の原因となります。



●本製品を高温または低温環境下で使用した後に触れる際には手袋などを使用して触れる様にしてください。けがややけどの原因となります。



●動作温度範囲内であっても、急激な温度変化にさらさないでください。故障の原因となります。



●梱包に使用している袋類は、お子様の手の届く所に置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。



●本製品はアース付きのコンセントに接続してください。アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電の原因となります。アースネジ付のコンセントが利用できない場合は、お近くの電気店もしくは電気工事士の資格をもつ人に、アースネジ付コンセントの取り付けについてご相談ください。電源ケーブルを抜くときは、先に電源プラグを抜いてからアース線を外してください。



警告



- 濡れた手で本製品を扱わないでください。感電の原因となります。



- 設置や移動の際は本製品を両手で持ち、足元へ落とさないようにご注意ください。



- 本製品を使用する場合には正しい向きで設置してください。転倒により、ケガの原因や本製品の破損の原因となります。



- 本体の通風孔をふさがないでください。過熱による火災や故障の原因となります。



- 本製品の使用中や使用直後は本体の高温部や電源ケーブル・ACアダプター・充電器に長時間触れないでください。やけどや低温やけどの原因となります。



- 本製品は絶対に分解・改造しないでください。感電や故障の原因となります。分解の必要が生じた場合は当社テクニカルサポートにご相談ください。



注意



●本体の強制電源断（電源スイッチの長押し・リセットボタンの使用・電源タップによる電源 OFF 等）は、本体がフリーズして反応がない場合にのみ使用ください。むやみに使用すると動作不良やデータ消失の原因となります。また、この操作で日付・時刻がずれる場合があります。



●本製品を継続してご使用になる場合には、定期的なデータのバックアップを行ってください。



●本体の電源を一度 OFF(切) にした時は 30 秒以上経過してから ON(入) にしてください。誤動作などの原因となります。



●本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。（本体内に垂れ落ちるほど含ませないよう気をつけてください）揮発性の薬品（ベンジン・シンナーなど）を用いますと、変形や変色の原因となります。



●本製品には、有寿命品が含まれております。コンデンサ・AC アダプター等の経時による劣化（感度低下・機能低下など）生じた場合は、保証期間でも有償修理となります。



●本製品には、バッテリーなど消耗品が含まれています。消耗品は使用環境・使用時間・時間の経過に伴って劣化・消耗し、動作が不安定になる原因となります。本製品を安定してお使い続けていただくためには、一定の期間で消耗品の交換をお客様にておこなってください。なお、交換した消耗品を廃棄する際は、地域の法令や条例に従って処分してください。



注意



●本製品が振動により落下することで、けがの原因となります。本製品を振動の加わる場所、または加わりやすい場所でご使用の際には、十分にご注意ください。



●本製品をラジオ・テレビ等の近くで使用しますと、ノイズを与える事があります。また、近くに強い電磁波を発生する装置があると本製品が誤動作する可能性があります。必ず離してご使用ください。



●本製品は内部にリチウム電池（一次電池）を使用しております。リチウム電池は放電能力が高く、電池の寿命が切れるまで一定の電圧を維持する特性を持っています。水への投げ込み・加熱・分解等はお止めください。故障・破裂など予期しない事故の原因となります。リチウム電池は二次電池ではないため、充電することはできません。



●本製品を使用して、サウンドを再生する場合には、必ず最初に音量を最小にして、適切なレベルまで少しずつ上げてください。これを行わないと機器や聴覚に障害をもたらす原因となります。特にヘッドホンを使用する場合は、必ず最初にヘッドホンを耳から離れた状態で音量を確認してください。

■製品を正しく使用するために

- 本製品の仕様、デザイン等は、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。
- 本製品を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、当社ではいかなる責任も負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存したデータについては、理由を問わず一切の保証はいたしかねます。誤操作、落雷などの自然災害、経年劣化や不慮の事故等による製品故障に備え、重要なデータはあらかじめバックアップ（データの複製）をお願いします。
- 本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、当社ではいかなる責任も負いかねます。
- 本製品の仕様は、搭載されたハードウェア・ソフトウェアの機能が全て使用できる事を保証するものではありません。また、本製品に接続した全ての機器の動作を保証するものではありません。
- 本製品は日本国内仕様です。海外での使用に関して当社ではいかなる責任も負いかねます。また当社では海外使用に関するサービス・サポートは一切行っておりません。
- 通風孔や、各コネクタのチリ・ホコリ等は定期的に取り除いてください。
- 本製品の寿命は 1 日 8 時間、1 週間 5 日稼働で約 5 年です。

■お問い合わせ窓口

技術的なお問い合わせ（テクニカルサポート）、修理受付窓口に関しては、製品付属の保証書に記載されています。

■保証と修理について

- 本製品には保証書が付属されています。記載内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間は保証書に記載されています。ご購入日より有効です。
- 修理を依頼される場合、修理品については、当社修理受付窓口にお送りいただくかお求めいただいた販売店へご相談ください。故障かどうか判断がつかない場合は、当社テクニカルサポートにお問い合わせください。
- 保証期間中の修理につきましては、保証書に記載の規定に従い修理いたします。保証期間終了後の修理につきましては、お客様のご要望により有償修理しています。ただし、製品終息後の経過期間によっては、部品確保等の問題から修理できない場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）の最低保有期間は、製品出荷後 5 年間です。（保有期間内でも、互換パーツでの修理や修理に代わって同等品へ交換する場合があります。）

■ 本製品使用上のご注意

- 高温環境で継続的に使用すると製品寿命が短くなります。
- 本製品は経年劣化や設置場所により、色落ち・変色等が発生する可能性があります、製品の使用に影響ありません。
- 本製品の特殊環境性能（耐衝撃落下性能、耐振動性能、防塵防滴性能等）は製品の無破損、無故障を保証するものではありません。
- 本製品は以下の温度条件下でご使用ください。
動作環境温度：(AC アダプター接続時)：0℃～40℃
(湿度 0%～95% ただし結露しないこと)
※熱のこもる環境で使用しないでください
保存環境温度：-10℃～50℃
(湿度 0%～95% ただし結露しないこと)
- 本製品の設置に関してはエアフロー（空気流：0.5m/s）のある環境での設置を前提としています。密閉された空間などへの設置は控えてください。
- オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載のネジ径で、ネジ穴深さを超えない長さのネジを使用してください。ネジ穴深さを超えるネジを使用するとネジが本体内に突き抜け、破損する可能性があります。十分にご注意ください。
- オプション品の取付や本体の固定でネジを使用する際は、マニュアルに記載の推奨トルク値で締め付けてください。締め付トルクが弱い場合は本体の脱落の可能性があります。また、締め付トルクが強すぎる場合は本体を破損する可能性があります。十分にご注意ください。

■ 電波障害自主規制について（VCCI-クラス B）

この装置は、クラス B 機器です。

この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■ 廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

本製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

- 本製品を廃棄する際、内蔵ストレージに記録されたお客様のデータが再利用され、重要なデータが読みとられ、予期しない用途に使用される恐れがあります。
- 内蔵ストレージに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。
- 本製品に記録されたソフトウェアを消去することなく本製品を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

これらより、内蔵ストレージ上のデータが第三者に流出することがないよう廃棄時には全データの消去の対策をお願いいたします。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはデータ消去サービス（共に有償）を利用するか、搭載された記憶装置を物理的に破壊して、読めなくすることを推奨します。

1. 付属品の確認

標準付属品が揃っていることを確認してください。

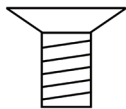
万一、足りないものがあったり、破損しているものがあった場合は、販売店または当社サポート窓口までご連絡ください。

- ・ VESA マウントキット

ディスプレイなどに取り付ける場合に使用します。

- ・ VESA マウント用ネジ (M3 x4mm) x 8

VESA マウントキットを PC 本体に固定する際に使用します。



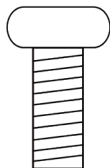
- ・ VESA マウント固定用ネジ (M4 x 6mm) x 4

VESA マウントキットをディスプレイに取り付ける際に使用します。



- ・ VESA マウント固定用ネジ (M4 x 10mm) x 4

VESA マウントキットをディスプレイに取り付ける際に (M4 x 6mm) ネジで 3 回転以上ネジが締まらない場合に使用します。



- ・ AC アダプター x1

入力 : AC100V~240V、50/60Hz

出力 : DC12V、12.5A

長さ : 約 1.5m(ケーブル部分)

- ・ 電源ケーブル x1

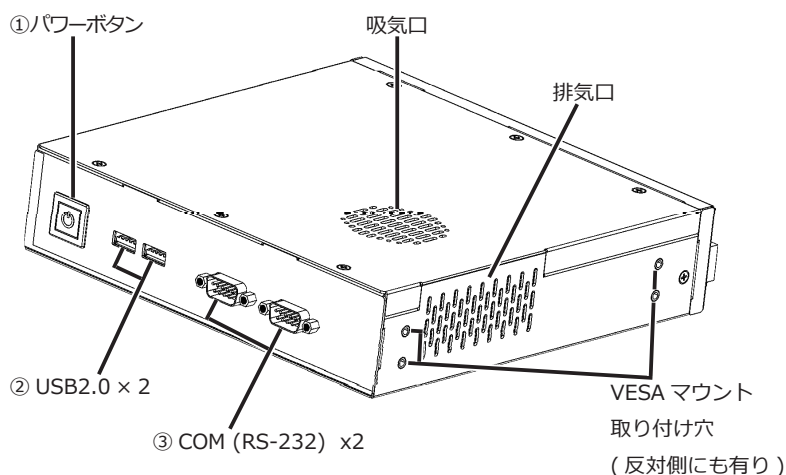
形状 : 3pin

長さ : 約 1.8m

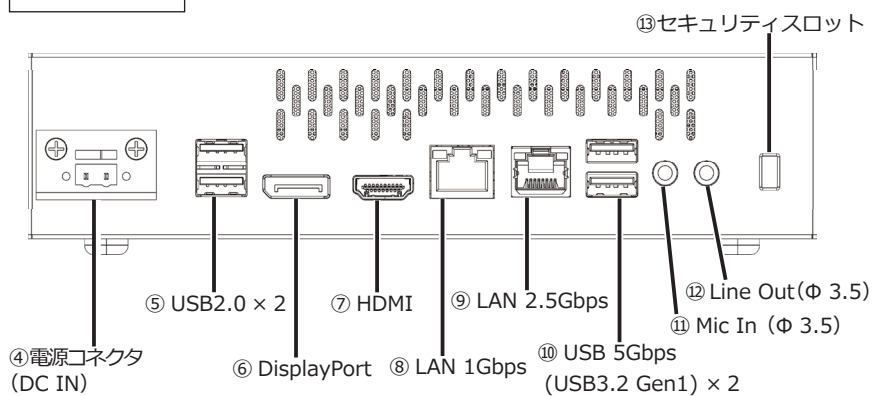
- ・ リカバリーディスク

OS レスの場合は、ドライバーディスクを付属します。

2. 各部の名称と機能



背面部



※外觀は予告なく変更することがあります。



ご注意

本製品には、スピーカーは内蔵されていません。コントローラからの音声を再生する場合は、別途市販のスピーカーをご用意ください。

① パワーボタン

本製品の電源を ON（入）するスイッチです。

電源 ON 時：青色に点灯 スリープ時：青色に点滅

通常は電源を ON（入）するときに用い、電源を OFF（切）するときには OS から行います。

② USB2.0 × 2 (Type-A)

USB 2.0 対応機器を接続できます。

③ COM (RS-232)

COM の機器を接続できます。サポート規格は RS-232 です。

④ DC 電源コネクタ

付属の AC アダプターを接続します。

⑤ USB2.0 × 2 (Type-A)

USB 2.0 対応機器を接続できます。

⑥ DisplayPort

ディスプレイを接続できます。最大解像度：4096x2304 @60Hz

⑦ HDMI

ディスプレイを接続できます。最大解像度：3840x2160 @30Hz

⑧ LAN 1Gbps × 1 (RJ-45 10/100/1000Mbps)

1 Gbps の 1000BASE-T ポートです。

⑨ LAN 2.5Gbps × 1 (RJ-45 10/100/1000/2500Mbps)

2.5 Gbps の 2.5GBASE-T ポートです。

⑩ USB 5Gbps(USB3.2 Gen1)

USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) 対応機器を接続できます。

⑪ Mic In (Φ 3.5)

マイクを接続するコネクタです。

⑫ Line Out (Φ 3.5)

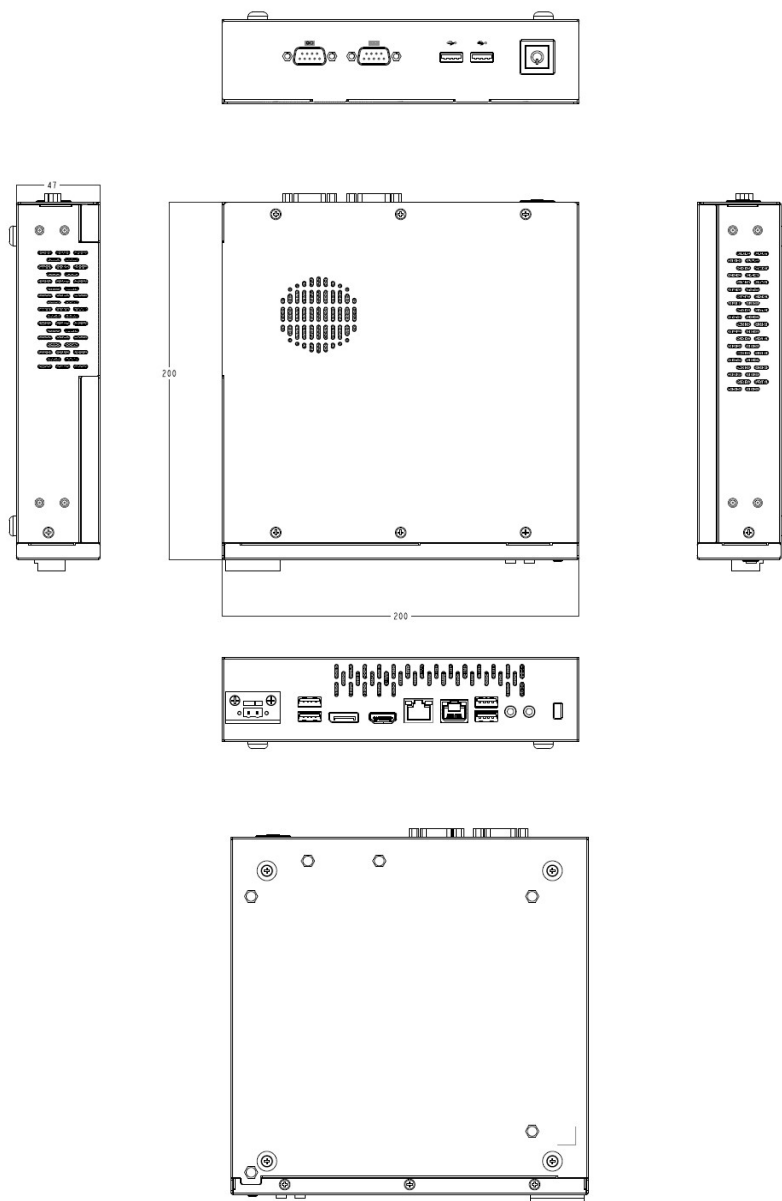
アンプ付きスピーカーなどを接続するコネクタです。

⑬ セキュリティスロット

セキュリティワイヤーを接続することができます。

※出荷時はゴムキャップで塞いであります。使用時には外してお使いください。

3. 外形寸法



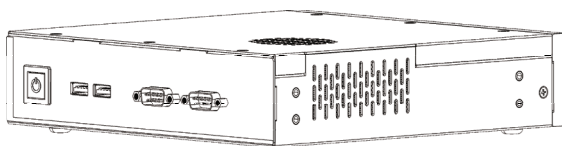
単位 : mm

4. 設置について

机や棚などに直接設置する場合

横向きで設置してください。

縦置きの場合、通風孔がふさがり、過熱による故障の原因となります。

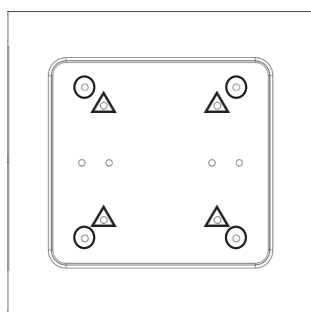


ディスプレイなどに取り付ける場合

① VESA マウントキットを画像の向きで、付属の VESA マウント固定用ネジ (M4 × 6mm) を使用してディスプレイなどに取り付けます。

※ (M4 × 6mm) ネジで 3 回転以上ネジが締まらない場合は、(M4 × 10mm) ネジを使用してください。

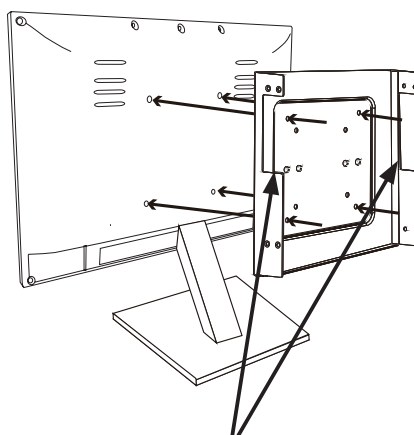
(推奨トルク値 : 0.98N・m)



VESA 規格

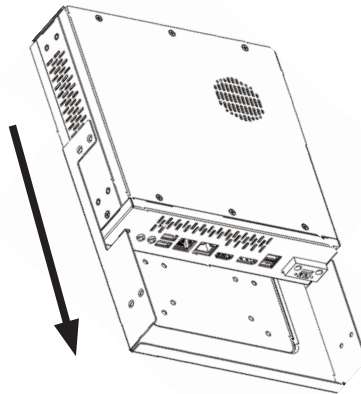
○ : 100x100mm

△ : 75x75mm

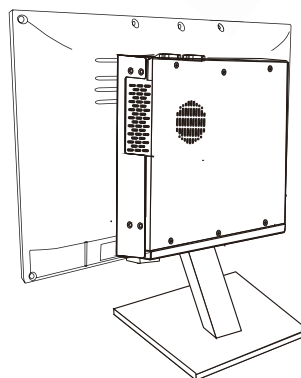
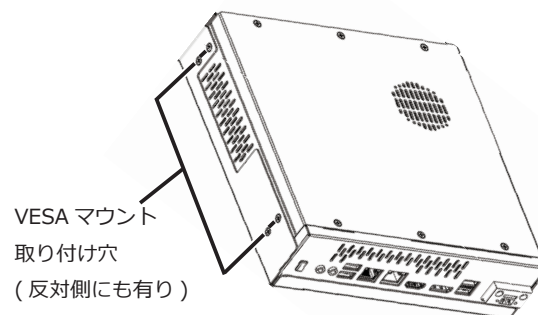


側面の切り欠き部分が上になります。

- ② PC 本体を画像の向きで、
VESA マウントに取り付けます。



- ③ VESA マウント取り付け穴に VESA マウント用ネジ (M3 x4mm)
を 8 本使用して取り付けます。
(推奨トルク値 : 0.49N・m)



完成図

5. 機器の接続

本製品に各種機器を接続する方法を説明します。

- ① USB キーボード、USB マウス、ディスプレイを接続します。

接続する USB ポートは USB2.0、USB 5Gbps(USB3.2 Gen1) どちらでも構いません。

ディスプレイへの接続は DisplayPort、HDMI どちらでも構いません。

- ② 必要に応じて、スピーカー、マイク等を接続します。

無くても構いません。

- ③ インターネットに接続可能なように、LAN ケーブルを接続します。



ご注意

- ・基本モデルは、マイクロソフト社の OS をプレインストールしています。
インストール済みの OS や、アプリケーションによってはライセンス認証（アクティベーション）が必要な場合があります。インターネット接続はそのライセンス認証のために必要です。
- ・ライセンス認証の他にも、アップデートが必要な場合があります。

6. 電源をONにします



重要なご注意

- ・電源ケーブル（AC アダプター）を接続するだけで、本製品の電源が ON（入）になるカスタマイズ仕様の製品もあります。
-

- ①付属の AC アダプターを本製品に接続します。
- ② AC ケーブルを AC アダプターに接続し、もう一方を電源コンセントに接続します。
- ③接続したディスプレイの電源スイッチを ON（入）にします。
- ④本製品のパワーボタンを押します。

本製品や、接続機器に問題がなければ、本製品の電源を ON（入）にすると、以下のような流れでセットアップが始まります。

- ⑤パワーボタンが点灯します。
- ⑥ディスプレイに起動画面が表示されます。
- ⑦基本モデルでは、Windows のセットアップが始まります。
※デスクトップ画面が表示される仕様の製品もあります。

もしも、セットアップが始まらない場合には、「10 トラブルシューティング」をご参照ください。

- ⑧セットアップが完了しましたら、接続機器のマニュアルに従って、一つずつ接続し、それら機器のセットアップを行います。



重要なご注意 <電源を OFF にするには>

- ・パソコンの電源を OFF（切）にする際は、OS のスタートボタン「

- 17 -

7. BIOS 設定画面について

本製品に接続された機器やストレージ等の管理や制御を、Windows が起動する前の段階で BIOS が行います。本製品の一部の機能や操作は Windows 上では設定できず、BIOS 設定画面での設定が必要です。

ここでは、BIOS 設定を行う BIOS 設定画面の操作について説明します。BIOS 画面の操作は基本的にキーボードで行います。

7-1.BIOS 設定画面の表示

BIOS 設定画面を表示するには本製品の電源投入直後、または再起動直後の操作が必要です。

電源投入直後、または再起動直後に [Delete] キーを押します。

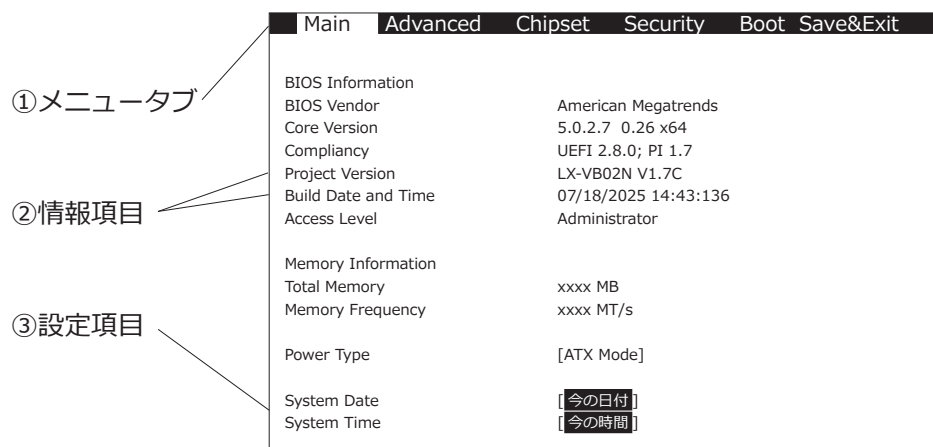


BIOS 設定画面が表示されない場合があります。

Windows が起動した場合は再起動し、再度試みてください。

7-2.BIOS 設定画面の操作方法

BIOS 設定画面の操作方法について説明します。



①メニュータブ

[←] キーや [→] キーでメニューを切り替えます。
後述の④詳細設定項目を表示している場合を除きます。

②情報項目

現在の設定値を表示します。
黒色文字や灰色文字で表示されていれば変更できません。

③設定項目

現在の設定値を表示していますが、設定（変更）が可能な項目です。
[←] [↑] [↓] [→] キー、[Tab] キーなどで設定したい箇所を示してから [+] キーや [-] キーで値を変更します。設定項目が数値であれば、数字キーによる入力も可能です。
項目によっては [Enter] キーにより選択肢が表示されます。[↑] キーや [↓] キーで選択し、[Enter] キーを押して確定させます。

④詳細設定項目

行頭に▶が付いている項目は詳細設定が可能です。
詳細設定項目を選択し、[Enter] キーを押すと詳細設定画面に移行します。
詳細設定画面で [Esc] キーを押すと、詳細設定項目が表示されていた画面に戻ります。

7-3.BIOS 設定画面の保存・終了

BIOS の設定値を変更しても、設定を保存して再起動するまで設定内容が反映されません。BIOS 設定後の保存方法について説明します。

- 1) BIOS 設定画面の「Save & Exit」メニューに移動します。
- 2) 設定項目の「Save Changes and Exit」を選択して [Enter] キーを押します。
- 3) 確認画面が表示されますので「Yes」を選択して [Enter] キーを押します。

以上で BIOS 設定内容が保存され、本製品が再起動します。

8. 出荷状態に戻す (システムリカバリー)

ここでは本製品を開梱直後の状態に戻す方法を説明します。出荷時状態に戻す事が必要な場合は本項に沿って実施してください。本製品を出荷時状態にするには、BIOS 設定とシステムリカバリーの両者が必要です。

BIOS 画面の操作はキーボードで行います。

ポイント

- BIOS 設定のみ行う場合には、リカバリーディスクは必要ありません。システムリカバリーを行う場合には、リカバリーディスクを光ディスクドライブにセットしてください。
 - システムリカバリーには光ディスクドライブが必要です。USB 接続の光ディスクドライブをご用意ください。
 - システムリカバリーは、内蔵ストレージにインストールされている Windows およびその他のデータを削除します。必要なデータファイルなどはあらかじめバックアップするようお願いします。
起動ドライブを領域分割していても、領域に関わらずシステムリカバリー時に消去します。
 - 本製品に付属のリカバリーディスクは、本製品に対してのみお使いいただけます。
 - システムリカバリー完了後、必要に応じ Windows Update 等でセキュリティ対策を実施してください。
-

■システムリカバリーに必要な機材

- 本製品
- ディスプレイ
- リカバリーディスク (本製品付属の物)
- USB キーボード (テンキー付きを推奨)
- USB マウス
- リカバリーディスクの規格に対応した外部供給電源付き USB 光ディスクドライブ

※上記以外で工場出荷時に接続されていない機器は全て取り外してください。

8-1.OS 設定の出荷時設定化

購入してから本製品の BIOS 設定を変更したことが無いことが明らかな場合は本項の操作は不要です。次項「リカバリーディスクによるシステムリカバリー」にお進みください。

BIOS 設定には BIOS 設定画面を使用します。操作方法は「7-1.BIOS 設定画面の表示」を参照ください。

- 1) 作業に必要な機材のうち、USB キーボードと USB マウスを接続します。
- 2) BIOS 設定画面の「Save & Exit」メニューの「Restore Defaults」を選択し、[Enter] キーを押します。
- 3) 確認画面が表示されますので、「Yes」を選択して [Enter] キーを押します。
- 4) BIOS 設定内容を保存します。「7-3.BIOS 設定画面の保存・終了」を参照ください。

8-2. リカバリーディスクによるシステムリカバリー

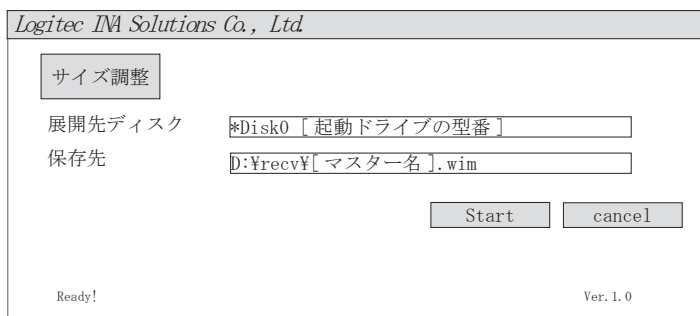
以下の手順でリカバリーします。

- 1) システムリカバリーには光ディスクドライブが必要です。USB 接続の光ディスクドライブを接続します。
- 2) リカバリーディスクを光ディスクドライブにセットします。
リカバリーディスクが 2 枚組以上の場合は、ディスクの右側に対象の Disc 番号と総数が記載されていますので、1 枚目のディスクをセットします。例えば 2 枚組の場合は「Disc 1/2」と記載されたディスクをセットします。
- 3) 本製品の電源を ON（入）にします。
- 4) リカバリーディスクによる「Press any key to boot from CD or DVD」のメッセージが画面左上に表示されたら、すぐに任意のキーを押します。

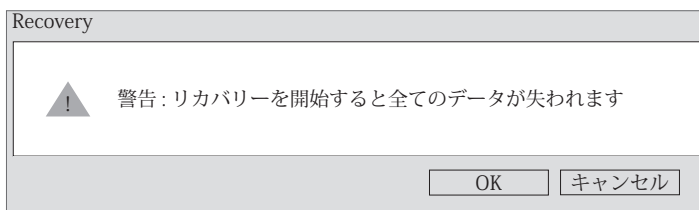
Press any key to boot from CD or DVD.

! ポイント

- しばらくするとシステムリカバリー画面が表示されます。システムリカバリーの画面が表示されない場合は、再起動してください。
- お使いのディスプレイ（モニター）の解像度などの要因により、システムリカバリー画面が小さく表示されたり、大きく表示されたりします。その場合は [サイズ調整] ボタンをクリックして見易く調整ください。

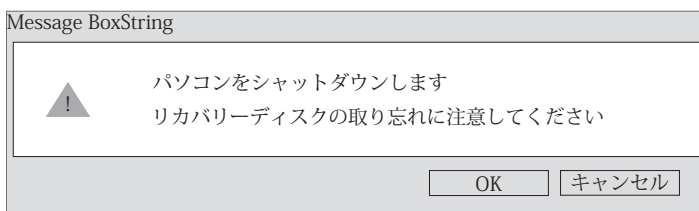


- 5) [Start] ボタンを押して（クリックして）、リカバリーを実行します。
- 6) 警告ウインドウが表示されますので、[OK] ボタンをクリックします。
中止するには [キャンセル] ボタンをクリックし、画面の指示に従います。

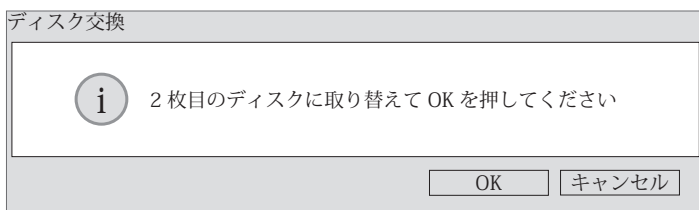


- 7) リカバリーが進行します。しばらくお待ちください。
- 8) リカバリーが完了するとメッセージが表示されます。
リカバリーディスクが複数枚の場合は完了メッセージではなく、ディスクの交換メッセージを表示します。例えば 2 枚組の場合は「Disc 2/2」をセットし、[OK] ボタンをクリックします。2 枚組以上の場合はこれを繰り返します。

完了メッセージ



交換メッセージ
(2 枚目の場合)



- 9) リカバリーディスクを取り外し、光ディスクドライブのトレイを閉じます。
- 10) [OK] ボタンをクリックすると、自動的に電源が切断されます。
カスタム仕様によっては、電源が自動切断されません。
このような場合、電源スイッチを押して電源を切断してください。
- 11) 電源が完全に切断されてから 30 秒以上お待ちください。

- 12) 本製品の電源を ON（入）にし、「2-1. BIOS 設定の出荷時設定化」を再度設定ください。
- 13) 再起動すると Windows のセットアップが始まります。画面の指示に従ってセットアップします。



ポイント

- リカバリー直後の Windows は、機能の一部が制限されている場合があります。機能を有効にするために、2 回ほど再起動してください。
-

- 14) Windows が起動している状態で、LAN ケーブルを接続し、インターネットに接続します。接続してしばらくするとライセンス認証が完了します。



ポイント

- ライセンス認証が正常に完了しない場合は、「ファイル名を指定して実行」から「slui.exe 4」を実行します。その後、Windows の画面の指示に従ってライセンス認証します。
-

9. その他の機能・設定

本製品の一部の機能や操作は Windows 上では設定できず、BIOS 設定画面での設定が必要です。

9-1. 商用電源供給開始時に自動的に本製品を起動させる

商用電源供給開始時に自動的に本製品の電源が ON（入）にする設定について説明します。本機能により停電からの復旧時等やブレーカーと連動して自動的に本製品を起動させることができます。

- 1) BIOS 設定画面を表示します。「7-1. BIOS 設定画面の表示」を参照ください。
- 2) 次表設定項目を設定値項の値に変更します。

メニュータブ	設定項目 / 詳細設定項目	項目	設定値	説明
Chipset > PCH-IO Configuration	Restore AC Power Loss	State After G3	Power On	※ 1

※ 1: [Power Off] : AC 通電時に自動で起動しません (出荷時設定)

[Power On] : AC 通電時に自動で起動させたい場合。

[Last State] : 電源が失われた時の状態に戻します。

電源が入っている状態で AC 通電が切れた場合は電源が入ります。

電源が切れている状態で AC 通電が切れた場合は電源は入りません。

- 3) BIOS 設定内容を保存します。「7-3. BIOS 設定画面の保存・終了」を参照ください。
- 4) Windows を起動します。
- 5) Windows をシャットダウンすることで準備が整います。

ポイント

- 設定を変更しても即座に反映されません。設定変後は必ず正しいシャットダウンを行ってください。以降、設定した電源投入方法が機能します。
 - 商用電源の切断後 30 秒以上経ってから供給してください。切断時間が短い場合には機能しません。
-

9-2. 特定の日時に本製品を起動させる

設定した週、日、時、分、秒に自動的に本製品の電源が ON（入）にする設定について説明します。本機能により特定のタイミングで自動的に本製品を起動させることができます。

1) BIOS 設定画面を表示します。「7-1. BIOS 設定画面の表示」を参照ください。

2) 次表設定項目を設定値項の値に変更します。

メニュータブ	設定項目 / 詳細設定項目	項目	設定値	説明
Advanced > ACPI Settings	S5 RTC Wake Settings	Wake System from S5	Fixed Time	※ 2

※ 2 [Disabled] : 自動で起動しません (出荷時設定)

[Fixed Time] :

Wake system from S5 [Fixed Time]

Wake up day of week [起動する曜日を選択]

(平日 (月 - 金) か毎日 (月 - 日) のみ選択可能)

Wake up day [日にちを入力]

(Wake up day of week が Disable の時にのみ設定可能 (1 ~ 31))

Wake up hour [時間を入力] (0 ~ 23)

Wake up minute [分を入力] (0 ~ 59)

Wake up second [秒を入力] (0 ~ 59)

[Dynamic Time] :

Wake up minute increase [何分後に起動させるか入力] (1~5)

3) BIOS 設定内容を保存します。「7-3. BIOS 設定画面の保存・終了」を参照ください。

4) Windows を起動します。

5) Windows をシャットダウンすることで準備が整います。



ポイント

- 設定を変更しても即座に反映されません。設定変後は必ず正しいシャットダウンを行ってください。以降、設定した電源投入方法が機能します。
- シャットダウン後 30 秒以上経ってから供給してください。切断時間が短い場合には機能しません。

9-3. Wake On LAN を設定する

Ethernet 経由で本製品の電源を ON (入) する方法です。Wake On LAN (WOL) を使用するには Windows OS による設定、Ethernet 経由で Wake On LAN を命令する側の設定が必要です。ここでは Windows OS による設定について説明します。

- 1) Windows を起動し、デバイスマネージャーを表示します。
- 2) Wake On LAN 設定するネットワークアダプターのデバイス名をダブルクリックします。「プロパティ」ウインドウが表示されます。
- 3) 「電源の管理」タブをクリックし「このデバイスで、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」にチェックを入れます。
必要に応じて「Magic Packet でのみ、コンピュータのスタンバイ状態を解除できるようにする」のチェックを入れます。
必要に応じて「詳細設定」タブをクリックし、各項を設定します。
- 4) [OK] ボタンをクリックし、プロパティウインドウを閉じます。
- 5) 設定後、Windows をシャットダウンすることで準備が整います。



ポイント

- LAN1、LAN2 両方で本設定は有効です。
 - 本製品はスリープ状態 (S3)、休止状態 (S4) からの Wake On LAN に対応します。
-

10. トラブルシューティング

動作しないときには

- 本製品のパワーボタンを押しても、
パワーボタンが点灯しない。
 - ・電源ケーブルの接続状態、コンセントの状態を確認してください。
 - ・異常が発見できない場合は、販売店経由で修理をご依頼ください。

- ディスプレイの画面に何も表示されない。
 - ・ディスプレイの接続状態、ディスプレイの電源の状態を確認してください。

- ディスプレイの画面に何も表示されず、
パワーボタンが点滅している。
 - ・省電力状態（スリープ状態）を示しています。消費電力を節約しているパワーボタンが点滅している状態は「スリープ」と一般表現します。省電力へ移行するまでの時間やその無効化など、設定条件を調整ください。
 - ・マウスを動かしたり、キーボードのどれかのキーを押すことで、省電力状態から復帰します。それでも復帰しない場合は、電源を ON（入）にします。

- システム起動中に以下が表示される。
「Reboot and Select proper Boot device or Insert Boot
Media in selected Boot device and press a key」
システムドライブが見つからない場合のメッセージです。
 - 周辺機器の確認
接続している周辺機器（USB メモリや USB ハードディスク）を外して起動してください。周辺機器に問題がある場合があります。

※ Intel、Intel Core はアメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

※ HDMI、High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。

※ Windows はマイクロソフト企業グループの商標です。

※その他、本書に記載されている商品名 / 社名などは一般に商標ならびに登録商標です。

Logitech LX-VB02N シリーズ・ユーザーズマニュアル

2025 年 9 月 第 1 版 LX-VB02N_Manual V01

製造元：ロジテック I N A ソリューションズ株式会社
